

Lights of Cincinnati

シンシナティの灯

今でも覚えてるし いつだって忘れはしない
西へと旅立った あの冬の日
飛行機の窓から見下ろす僕に
雨のシンシナティの街の灯が きらめいて
サヨナラしてくれたんだ まるで手を振るように
僕が見えなくなるまで

柳の木や松の木ごとに
シンシナティの街の灯が
きらめいている
あれから遠く遠く たくさんの時をかさねて
僕は新しい人生を築きあげてきた
そう自分自身で
でもシンシナティの街の灯はいまでも
帰っておいでと言っているんだろうね

ときどき夜おそく 暖炉の火のゆらめきが
僕の人生のいろんなシーンを
走馬灯のように浮かびあがらせる そんなとき
僕は懐かしの古い揺り椅子にもたれて
シンシナティの街の灯の またたきに抱かれる
そのゆらめきは 部屋をやさしく照らし
僕に微笑みかけるのだ

Scott Walker

